



霞台小だより

ひばり

No. 643

令和2年9月30日 発行

青梅市立霞台小学校

青梅市新町 1-35-1

電話 0428-31-3090

校長 佐藤 広明

挨拶は魔法の言葉

副校長 濱岡 明男

校庭の隅に曼珠沙華（彼岸花）が咲き、秋の気配を感じる時節になりました。夏の暑さも一段落し、子供たちにも本来の活発に活動する姿が見られるようになりました。



さて、8・9月の生活目標は「気持ちよくあいさつしよう」でした。6月から4か月間、正門に立って登校

指導をしてきましたが、なかなか元気な挨拶が返ってきません。教室では、元気な挨拶が交わされているようですが、廊下などではほとんど挨拶の声が聞こえてきません。

挨拶には、**良い関係になるために心を開いた瞬間**と「私は今、ここに生きています」と大切な**人に伝えるためにする**という説があります。私もこの説に同感です。挨拶は、自分も相手も気持ちよくなる**魔法の言葉**です。学校でも引き続き指導していきますが、ぜひ、ご家庭でも日頃からのコミュニケーションを大切にしてください。

- 朝起きた時 「おはよう」
- 夜寝る時 「おやすみ」
- 出かける時 「行ってきます」 「いってらっしゃい」
- 帰ってきた時 「ただいま」 「お帰り」
- 食事をする時 「いただきます」
- 食事を終える時 「ごちそうさま」



挨拶して欲しいと思うと、「挨拶しなさい。」とつい言ってしまいますが、挨拶は自発的にするからお互いに気持ちが良いのであって、人から強制されて行ったのでは本来の意味にはなりません。子供たちが自分から気持ちのよい挨拶ができるようになるために、挨拶のシャワーを浴びせてあげましょう。



霞台小学校HP